

2009年9月

クラブ会長 各位

ロータリー家族の新しい一員として充実した日々をお過ごしのことと存じます。ロータリーには、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕という奉仕の四大部門がありますが、この度は、クラブの国際奉仕の一環として、ロータリーの2億ドルのチャレンジにご参加いただきたく、本状をお送りする次第です。

ポリオの撲滅は、ロータリーが優先して取り組んでいるプロジェクトです。このプロジェクトの目標を達成するために、ロータリー、米国疾病対策センター(CDC)、世界保健機関(WHO)、ユニセフは、ほかに類を見ない協力関係を結んでいます。1985年、ロータリーが3年間に1億2,000万米ドルを集めることを約束した第1回ポリオ・プラス・キャンペーンでは、ロータリアンの寛大な精神によって、目標を上回る2億4,700万ドルを集めることができました。政府からの資金援助もあわせ、ポリオ撲滅に十分な資金が集められたと思われましたが、さらなる資金の要請に応え、2003年、ロータリーは再び、ポリオ撲滅のために募金活動を行いました。当時の目標金額は8,000万ドルでしたが、ロータリーはまたしても目標を上回る1億3,500万ドル以上を集めることに成功しました。

以来、ロータリーと協同団体は、ともにポリオ撲滅に向けて精力的に活動してきました。このロータリーの取り組みが評価され、「End Polio Now(今こそポリオ撲滅のとき)」キャンペーンを支援するために、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から2度にわたり総額3億5,500万米ドルの補助金が授与されました。これを受けて、ロータリーは2012年6月30日までにゲイツ財団補助金に2億ドルを上乗せすることを目標に、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」と銘打って懸命な募金活動を行っています。2009年6月30日現在、このチャレンジに対し9,100万ドルが集まっています。

クラブの皆さまには、今後3年間にわたり、毎年少なくとも2,000米ドルを目標に、それぞれの地域社会での募金活動にチャレンジしていただきたいと思えます。この額を上回る目標を立てるクラブ、また、ほかの財源から寄付を確保しようと努めるクラブもあるでしょう。どのような方法であっても、あらゆる努力は称賛に値します。ポリオ撲滅を目指すこの募金活動に対し、ロータリー財団年次プログラム基金への寄付を上回るご支援を注いでいただけることを祈念しております。

極めて重要なこの活動にどうかご協力いただけますようお願いいたします。ポリオ・プラスはロータリーが後世へ残すことのできる遺産であり、世界の子供たちへの贈り物です。このチャレンジの達成に貢献し、ロータリーでの体験をさらに豊かなものにしていただけることを願っています。

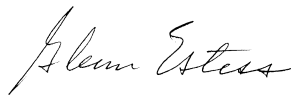
なお、クラブの参考用に、募金活動のアイデアをまとめた資料を同封いたしました。皆さまにご利用いただけるよう、このチャレンジに関する数々の推進資料も作成され、ウェブサイト(www.shop.rotary.org)からご注文いただけるようになっております。

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団からの補助金は、ロータリーが高く評価されたことを示すものです。個人寄付という形でポリオ撲滅への支援にご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。「**ロータリーの未来はあなたの手の中に**」というテーマの下、ポリオ撲滅の約束を果たして**ロータリーのいっそうの発展に貢献し**、世界の子供たちのためにより良い未来を築いてまいりましょう。

敬具



ジョン・ケニー
国際ロータリー会長



グレン E. エステス・シニア
ロータリー財団管理委員会委員長



ジョン F. ジャーム
ロータリーの2億ドルのチャレンジ
委員会委員長

同封物